

せ ん ぼ 通信 No.115

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「奉賽(さい)」

川曲の熊野神社に、遠藤浩さんが、心をこめて作られたお賽銭箱を寄贈されました。奉納された翌日に、初めて川曲の神様に…。鳥居の前に立つと、正面に見えるのは赤い屋根がちよこつと。50m位の参道と石段を登ると、ひと足ごとに神社が見えてくる。(テレビがゆっくり…屋根から下へ映す映像のように)境内に上がって見わたすと、神殿を守るように杉木立ち…外界とは完全に別世界。それでも早春の光がとどき…神様が両手を広げて、「おお…よく来たなあ」と、迎えて下さったような…ふんわりした「気」に会えたような…「やっぱりパワースポットだよなー」と、三人でお賽銭を入れて…二礼二拍一礼。奉納されたお賽銭箱は…ケヤキ材で正面の中央に「三つ巴」の文様、左右に「奉賽」の文字が。【巴(ともえ)・まが玉の形は…魔除けです 奉賽は…神様に感謝のお礼です】総代さん達によって、管理されている「熊野様」は、お寺さんの真向かいの森の中にあり、オスキジの出迎え…送り…もありました。川曲の皆さんのご縁…ありがとうございます。

谷田川小の卒業生13名の内、栃山神小出身の子供は4名。新しいお友達とも、4年間楽しく学び…4月に守山中学校に入学。栃山神小からの子供たちには、心の中に楽しみが…。閉校式時に、2026年に開けることを約束して作った、タイムカプセル…。なんで6年後? 1年生だったYちゃんとMちゃんが、卒業して中学生になるから…。安田校長先生らしい計らいです。マラソン…1輪車…ダンス…合唱…一緒になって指導して下さった校長先生は、子供たちの心にしっかり残っていて、「みんな大きくなったなあ」と笑顔の安田校長先生や先生方に会える2026年4月を、楽しみに待っているのです。

「禍福はあざなえる縄のごとし」

ワラが、表に裏にもじられて一本の縄になるように、幸せな事があったり…そうでない事があったり…それが人の世と。わかりやすいのがオオタニサン。立派な人でも、一人で生きているのではないので、トラブルも仕方ない。「災い転じて福となす」も。だから…何とかなる…さすけねえ～誰でも…。

家の榊を切っていたら、細い枝の上に巣穴5cm程の小っちゃくてかわいい古巣が…。え～こんな所に隠れていたのね～役に立って良かった…。南天の実も残り少ない…ヒヨドリ・ツグミの役にも。ツバメが来た…春だね…いのちはめぐる…

風光る異動の君にグッドラック



藤の実のはじける音や山笑う

〒963-1245 郡山市田村町栃山神字千穂128 TEL: 024-975-2415 FAX: 024-975-2466

2024・4・1

遠藤商店

編集: ミサ子 mail:kaikuu-0305@docomo.ne.jp